

原ゆうじ市政報告 VOL.92

松戸市に関すること、困りごとのご相談はお気軽に！！

TEL 070-5540-9565 メールアドレス yuji.hara88@gmail.com

ブログも好評配信中！ 公式 HP:hara88.mobi 発行元:松戸市上本郷905



(原ゆうじのプロフィール)
1965年松戸生まれ 上本郷小、松戸六中、立教高校、立教大学理学部化学科卒。長瀬産業(商社)勤務を経て家業のベーカリー店を継ぐ H22年市議初当選、現在、市議会議員4期目

松戸市議会議員、原ゆうじ市政レポート:税金の無駄遣いは許さない！ 6年春号

移転案否決後、
松戸市からの

市役所建替案、未だ提案無し

急ぐべき建て替え、遅らせているのは誰だ！

現在、松戸市最大の問題である市役所の建て替え問題ですが、5月の臨時議会で移転候補地購入議案が否決された後、なぜか市からの提案が未だありません！耐震不足で建て替えが急務な松戸市役所！なぜ、松戸市は再提案しないのか？なぜ移転にそこまでこだわるのか？一体だれが遅らせているのか？レポートします。

耐震不足の新館・本館！ 現在の市役所は敷地内に建物4棟(土地建物とも市所有)ありますが表1のように本館と新館は建物耐震性に問題があり、その対応が急務となっています。

尚、敷地外に民間借り上げの事務所が3つ、市所有の事務所が2つあり、合計で約3万㎡の延床面積となっています。

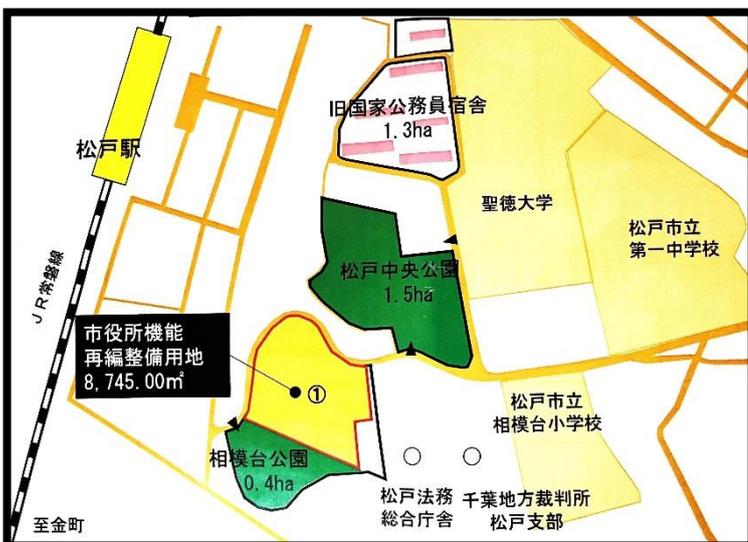
↓(表1) 庁舎の面積と耐震性 (IS値=耐震性の指標)

	延べ床面積	IS値	耐震性	建築年
本館	3,683 ㎡	0.3	✕	S34
新館	11,894 ㎡	0.3	✕	S45
議会棟	3,688 ㎡	0.71	○	S53
別館	3,759 ㎡	新耐震	○	S58

松戸市の移転案！5月に議会は否決！市役所移転を目指す松戸市は5月に臨時議会を招集し、市役所の移転候補地購入(現国有地を**30.2億円で購入&約2.6億円の解体費が必要**)の議案を提出しましたが、議会は大差でこの議案を否決(賛成13:反対30)しました。

↓ 移転候補地 (国有地: 8,745 ㎡)

VS ↓ 現市役所敷地 (市所有: 15,158 ㎡)



なぜ移転候補地購入に議会は反対した？ 議会からはどんな意見があったのか？

反対理由①特別議案が先でしょう！ 市役所の移転(住所変更)には特別議案(議員の3分の2賛成で可決)が必要で、この議案を先に決めてから移転候補地購入を考えるべき！

反対理由②土地が狭い！ 移転候補地の面積は、8,745 ㎡。さらにながれ地の上にある為、建築可能な平らな部分は**5,230 ㎡**しかありません。ここに37,000 ㎡規模の庁舎と立体駐車場を建築可能なのか？

反対理由③アクセス&立地の問題 候補地へ車でのアクセスの場合、6号線より上り線に右折レーン設置が必要となり伴う費用の増大、渋滞が懸念される。又、土砂災害警戒区域に指定されていることも懸念される。

急ぐべき建て替え、遅らせているのは誰だ！

↓昨年5月の移転候補地購入議案否決後、以下のように、**市からメッセージ**が出されました。

令和5年5月に開催された市議会臨時議会において、市役所機能再編整備基本構想を前提に、移転候補地(新拠点ゾーン南側国有地)を国から購入するための議案を提案しましたが否決されました。

今後については、市議会、市民の皆さんにご理解いただける案を、土地の所有者である国とも十分に協議して、**早急に検討していきたい**と考えています。

半年たっても提案無し！どうなっている？

市は上記のように、「**早急に検討**」と松戸市公式ホームページでメッセージを掲載していますが、否決から半年たった12月議会でも市から新たな建て替え案の提案はありませんでした。

地方議会は二元代表制で、**議員側から予算を伴う提案は基本的に出来ません**。

市は責任をもって早急に建て替え案を出すべきです！

能登半島地震発生！松戸市は今どうすべき？

元旦に能登半島地震が発生、**大きな被害**が起きました。地震はいつ起こるかわかりません！松戸市が今、取るべき道、すべきことは何か？市役所建て替えをどうすべきなのでしょう？

原ゆうじの考え①

すぐ仮庁舎に移転すべき！

市役所本館(3,683㎡)と新館(11,894㎡)の建物は耐震性が不足していますが、市推奨の移転建て替えでも最短で8年後に人を移す計画となっています。この間、地震が来ないとは限りません。今すぐに、新館本館を！無理なら少なくとも一番古い本館だけでも仮庁舎に移すべきです。まずは市役所内駐車場、無理ならば旧古ヶ崎南小、移転候補地などから検討すべきです。実際に世田谷区では廃止された高校を仮庁舎にして使用し、現在、庁舎建て替えを行っています。

原ゆうじの考え②

現地建て替えで検討を！

移転候補地は面積8,745㎡で容積率は400%基本的には最大34,980㎡が建築可能な面積。しかし新市役所の想定面積は37,000㎡。**明らかに狭いです！**又、6号線への右折レーン設置。一方通行道路の改良。土砂災害警戒区域への対応など**費用増大の懸念**もあります。一方で、現地は敷地が広く市の所有。かつ、別館、議会棟は耐震性に問題はありません。ならば、これらの建物は引き続き使用し、**耐震不足の新館・本館のみを現地で建て替え**、早く安く市役所の建て替えを行うべきです！

移転候補地購入議案否決→現地建て替え検討は当然！ と思いますが、なぜ、松戸市は狭い移転候補地にそこまでこだわるのでしょうか？分かりません！

又、市役所を移転したいなら、住所移転の特別議案を正々堂々、市は先に提案すべきです。それは**土地購入(過半数で可決)→特別議案(3分の1で否決)→土地が無駄に！**になりかねないからです。市役所の移転候補地購入は、新拠点ゾーン開発(松戸イトーヨーカ堂裏側一体)の第一歩と考えているようですが、**市役所の建て替えはそこにいる人の命にかかわる問題**です！今の状況では**市役所建て替えと新拠点ゾーン開発は切り離して考えるべきです！**

原ゆうじは信念をもって、今後も市役所建て替えに取り組みます！